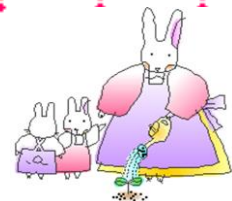


# がん患者さんご家族のための おしゃべりサロン

都立駒込病院  
サロン便り No. 78  
(2018年8月発行)



2018年7月13日に第85回“おしゃべりサロン”を開催しました。体験者7名（男性1名、女性6名）家族1名（女性1名）合計8名の方が参加されました。今回は、家族の方がご主人の病気発覚からの辛い気持ちを話されたり、リンパ浮腫が気になり旅行に出られない思い、ストレス、抗がん剤の副作用の辛かった症状等々を分かち合い、患者の想いに付き合う家族を気遣う発言もあり、あっという間の2時間でした。



サロンのお約束を確認して始まりました。

- ①自分のことは自分の言葉で話すこと。
- ②他の方のお話は、善し悪しを評価しないで最後まで聴くこと。
- ③サロンでのお話はこの場限りにすること。  
SNSへの投稿、録音、写真撮影は禁止。  
以上の3点をお願いしました。

○リンパに転移していたので、今月の誕生日に夫から「8年経ったね」と声をかけられ、とても嬉しかった。

○夫のがんの原発がやっと見つかって今通院治療中。何をしても涙が出て、普通にしているのが2か月できなかった。

○ちょっとずつ夫の力になれたらいいなあと思えるようになった。

○調剤薬局のポスターを見て、メールで処方箋を薬局に送ったら、薬を準備しておいてくれた。

○食べられる、飲める、動ける状態なので復職したが、ストレスが続いた。やっと上司が、術後治療の体が大変だったことに気が付いてくれた。

○夫に「そこまで頑張らなくていいんじゃない」と言われるまで、体に良いものを探し、作って、疲れてしまった。

○夫に話せないこともここで話せる。

○腕がむくみ、舌が痺れ、目がチカチカと、バラバラに副作用が出て大変だった。

○最後の抗がん剤の時、思考力がなくなり辛かった。副作用が出たら先生に相談すると良い。

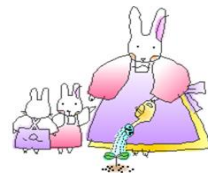
○抗がん剤治療の副作用がどのくらいの辛さかわからないので、家族としてはもどかしい。

○旅先で蜂窩織炎になったらどうしようと思うと出かけられない。

○気を使われるとほっといてもらいたいし、ほっておかれるとかまってほしいし、患者はわがままだから家族は大変だと思う。

体験や想いを分かち合った内容を、ごく一部ですがご紹介させていただきました。  
次回もスタッフ一同、皆様の参加を心よりお待ちしております。

## 次回・次々回のご案内



- 日時：毎月・第2金曜日（13時～15時）  
2018年 9月14日（金）  
2018年10月12日（金）
  - 場所：都立駒込病院 本館3階  
患者サロン(中央エレベーター横)
  - 対象：主にがん患者さん・ご家族  
どちらの医療機関に掛かっていても参加出来ます。
- \* 予約はいりません / 参加費は無料です